



## 前嶋 和弘

上智大学 総合グローバル学部  
教授

# 集中 OPINION

## 米国第二主義がもたらす世界の激変 日本が生き残る為に取りるべき道とは

米トランプ政権の外交政策が世界情勢の波乱要因となっている。「アメリカファースト（米国第一主義）」を掲げ、関税を武器に各国へ自国の要求を突き付ける一方、国際協調の枠組みや関係を次々と見直す等、嘗て国際秩序の構築を主導してきた米国の姿は今や見る影も無い。今年1月にはベネズエラで軍事作戦を実行し、反米政権のマドゥロ大統領夫妻を拘束した他、3月にはイラン国内の軍事施設を空爆する等、一連の対応は国際法違反との批判も浴びている。こうしたトランプ政権に日本はどの様に対応していけば良いのか。米国の現代政治と外交を研究する前嶋和弘上智大学総合グローバル学部教授に、トランプ政権の現状と課題、日本外交の在り方を聞いた。

——共著『現代アメリカ政治とメディア』（東洋経済新報社）で、米国でのメディアの分極化やフェイクニュースの拡散の現状について分析されました。

「実」を語り出した。これは根深い問題で、嘗てジャーナリズムのお手本だった米国のメディアは質的転換を遂げつつあると言わざるを得ません。

前嶋 米国では最早「真実は1つ」という前提が揺らいでいます。中国や北朝鮮等の共産主義国家と違い、米国のメディアは政府から独立した存在ですが、世論の分断が進む中で、どちらか一方の勢力に肩入れした報道をする様になってしまった。特に熱烈なトランプ支持のメディアは露骨で、従来の報道を否定し、トランプ支持者の側に立った「もう1つの真

——そうした中、トランプ政権は「アメリカファースト」を掲げています。

「アメリカファースト」で、「西半球重視」です。これは米国が築き上げてきた国際秩序の崩壊に繋がり兼ね

第2次大戦以降、自由貿易体制や法に基づく国際秩序等は米国主導で作られ、米国が世界の覇権を握ってきました。しかし、今のトランプ政権は「アメリカファースト」で、「西半球重視」です。これは米国が築き上げてきた国際秩序の崩壊に繋がり兼ね

「アメリカファースト」で、「西半球重視」です。これは米国が築き上げてきた国際秩序の崩壊に繋がり兼ね

「アメリカファースト」で、「西半球重視」です。これは米国が築き上げてきた国際秩序の崩壊に繋がり兼ね

前嶋 中国は世界をリードする国として、戦後の米国型経済をなぞる。中国は世界をリードする国として、戦後の米国型経済をなぞる。中国は世界をリードする国として、戦後の米国型経済をなぞる。

続きを読むには購読が必要です



詳細はホームページをご覧ください。